

平成 24 年度 若穂公民館運営審議会 開催概要

1 日 時 平成 24 年 6 月 27 日 (水) 午後 2 時から午後 3 時 50 分

2 場 所 若穂公民館 2 階 会議室

3 出 席 者 運営審議会委員 8 名 事務局 2 名

4 協議事項

- (1) 平成 23 年度公民館事業報告について
- (2) 平成 24 年度公民館事業概要について

5 議事概要

○協議事項

(1)及び(2)について資料により事務局から説明

○質疑等

委 員 パソコン教室とステップアップ I T 講習との違いは?

事務局 全くの初心者対象がパソコン教室、基礎知識がある方対象がステップアップになる。

委 員 高齢者の中でも習いたい人がいると思う。もっと PR 等考えれば集まるのではないか。

委 員 若穂文化振興会とはどんな団体なのか

事務局 主に 11 月に開催する若穂文化祭の企画・運営をしている団体である

委 員 社会体育事業への参加者はどれ位になるのか。またその中の中学生の参加状況は?

事務局 球技大会と冬季体育デーは 400~500 人、市民運動会は延べ約 2,000 人位である。中学生だが、球技大会は学生の参加を認めていないが、他の大会では、正確な人数は把握していないが、参加可能な種目には出場してもらっている。

委 員 成人学校の受講料が 8,000 円になって参加者はどうなったか

事務局 多少減少しているが、受講料の増が影響しているかどうかは分からぬ。

委 員 若穂歴史講座は毎年人気の講座だが、昨年は若穂自治協のイベント(わかほ塾)でも宮下先生の講演を聞く機会があり良かった。これからも、自治協等と連携をとりながら事業を進めていくのも良いのではないか。

- 委 員 公民館の講座あるいは公民館自体について、どれだけ知ってもらい、参加してもらえるかが大切だと思う。
- 事務局 とにかく公民館に足を運んでいただくことが大切だと感じている。実際に参加していただくと、その後他の講座等に参加していただけることが多い。ただ、成人学校については、定員等が決まっていることもあり、実際に実施するまでには大変な場合もある。あと、公民館を利用して活動しているサークル等についても知ってもらうことが大切であり、公民館も関わって支援していくことも大事なことだと考えている。成人学校も、ある程度の年数を経たらサークルとして独立し自主的に活動するのが本来の姿であり、公民館もそれを支援していく姿勢でいる。
- 委 員 講座の開講する曜日については決まりがあるのか？同じ曜日が多いような気がするが
- 事務局 特別な決まりはなく、講師の都合等により決めているが、参加し易い曜日、時間等、要望があれば考慮しながら決めていきたい。
- 委 員 成人学校も夜間の開講も考えたらどうか。そうすると勤めている人も参加してくれるのではないか。
- 委 員 この公民館の様々な活動を次につなげていくことが大切である。特に次世代を担う子どもたちにつながる活動が大事だと思う。中学校も、地域とのつながりを持って連携を深めていかなければと考える。
- 委 員 ただ、そうするには学校は勿論だが、部活動等の指導者の理解を得ることも大切になる。現状は、指導者、保護者等の理解が得られていない。
- 委 員 同感である。地域の伝統行事の継承、連携の問題も同じこと。子どものせいではなく大人の側に問題があると思う。
- 委 員 最近、近所で子どもの姿が見えない。地域を知る機会がほとんどないこと自体に問題があるのではないか。
- 委 員 地公連との連携も大切になってくると思う
- 委 員 成人式のときに、昔の中学校時代のビデオ等を流し、地域への愛着を持つもらう等考えては。あと、成人式では新成人も実際に式典に関わつてもらうのも良いのではないか。
- 委 員 子育てへの支援の充実も大切である
- 事務局 色々貴重な意見を出していただいたので、今後参考にし、検討していきたい。